

■小正ネットワークって？■

少子高齢化が進み、さらにコロナ禍で人々のつながりが薄れつつある。今、「小正ネットワーク」では、小正市民センター地区の皆さんが互いに支え合うことのできる地域となることを願って、定期的に会議を開催しています。

話し合いで定めた目指す地域像は、地域の方々が

孤立せず、

つながり合い、

助け合って

生活している。



そのために、
「住民同士のつながりはどうしたら生まれるだろうか？」
「自分たちにできることは何だろうか？」

と話し合いを進めています。

つながりづくりを進めていくために、既に今ある地縁活動を、広くお伝えし、共有し、つながりの輪を広めて行きたいと考えています。

今後も、地域のつながり情報を発行して行きますので、素敵な地縁活動がありましたら、是非情報をお寄せください。

第2号
令和5年3月1日発行



■お世話焼きおじさん、お世話焼きおばさんは今どこに？■

声かけのススメ

昔は、困っている方がいれば、声をかけたり、手助けをしたりと世話を焼いてくれる方が地域にいませんでしたか？

行き過ぎると「お節介」と言われてしまうこともあります。実は、そうした「世話焼きさん」が地域を見守り、人と人を結ぶ大切な役割を担っていたような気がします。

今、そうした「世話焼きさん」が少なくなりました。その結果、人と人のつながりは薄れ、孤立している方が増えているように感じます。

ちょっと困ったな、ちょっと相談したいなという時、声を上げるのを躊躇う日本人。そんな時、身近に面倒見のいい「世話焼きさん」がいたら、どんなに心強いのではないのでしょうか。「世話焼きさん」に感謝。

令和4年5月19日(木)ネットワーク会議・休憩中の雑談より



あれ？どうしたの。エ〜っ、やっぱり！ わたしもよ！

「おはようございます！」「ありがとう！」は、心を元気にする魔法の言葉



■まちかどニュース（その1）■

夕暮れ時、揃いのユニフォームに身を包んだ隊員が続々と集い、パトロールへ出発。
「小正五区パトロール隊」は、今年で結成18年になります。地区内の犯罪抑止のため、誕生しました。

発起人の金原さんは、今もなお隊長を務めます。

小池北区のパトロールを取材させていただいた日、公園の暗がりに行む方が……。早速お声掛け。お話し

たところ、
「大丈夫だって」「よかつた」

と安心した様子で再び歩き出されました。
「最近近所で……」「それはすごいなあ」歩きながらの情報交換もパトロールの醍醐味。「見知った方が近くにいます」というと、万が一災害が起きた時にも心強い。実はこれも隊長の狙いの一つとか。

パトロール中、地域の方から「いつもありがとうございます」との声。「いやいや」と返すメンバーの表情は暗い中でも晴れやかでした。

地域の皆さんの安心・安全のため、拍子木を打ち鳴らしながら、小正五区パトロール隊は今日も歩きます。



小池北区の隊員の皆さん

記：小正ネットワーク委員

❗️**※いづれも雨天中止**です。
ご注意ください。

①じんでん公園

活動曜日：年中無休

活動時間：午前6時 30 分から

参加人数：8～9 名程

参加方法：申込不要。直接会場へ。

ご夫婦が14年前に始められたのがきっかけ。お一人暮らしの方も毎日のように参加され、楽しいおしゃべりで1日を始めます。

②長出公園

活動曜日：火～金曜日

活動時間：午前 8 時から

参加人数：15～20 人程

参加方法：申込不要。直接会場へ。
隣のマンションの住民をはじめ、老若男女問わず、近所の方々が参加。犬の散歩がてら参加されるかたも🐾

③白山公園

活動曜日：毎週土曜日

活動時間：午前 7 時から

参加人数：15～20 人程

参加方法：申込不要。直接会場へ。

ラジオ体操は、脳トレ体操と体ほぐしストレッチを行ってから。「できなくても笑顔で！」を合言葉に、ご近所さんと楽しく体力づくり。

取材しました！
身近な場所で集い、地域の仲間とラジオ体操を行うグループがあります。コロナ禍により、外出や人との関わりの機会の減少している方、気軽に体を動かす機会を探している方、一緒にいかがですか？などたでもご参加いただけます。
ウォーキング途中の寄り道、大歓迎😊



④夢逢緑地

活動曜日：4 月～9 月の間毎日

(※現在はお休み期間中です)

活動時間：午前6時 30 分から

参加人数：3 人程

参加方法：申込不要。直接会場へ。

ラジオ体操の前に、公園にある大きな花壇の水やりや草むしりをします。夏休みには小学生も参加します。



まちかどニュース (その2)

資源回収の立ち当番をされる皆さん、当番活動ご苦労様です。ところで、何か困ったことはありませんか？
▼ラベルの剥がしていないペットボトルにうんざり
▼ゴミ捨て場と間違えている人が...
皆が少しずつ気を配れば、皆が快適に過ごせることが身の回りにはたくさんありますね。
ある資源回収場所で、行政区の役員の方と、子ども会の役員さんが協力して当番活動をしていました。

子ども会のお子さんも、お母さんと一緒にお手伝い。
「●●くん、手伝ってくれる？」
ゴミを出しにきた地域の方から袋を受け取り、一生懸命運んでいます。
資源回収は、世代を超えた大切な交流の機会のような気がします。

記：小正ネットワーク委員



■協力団体■

小正市民センター地区まちづくり推進協議会
小正・下津地区民生児童委員協議会
稲沢東部老人クラブ連合会(小正市民センター地区内老人クラブ)
小正・下津地域包括支援センター

小正ネットワークは、稲沢市役所高齢介護課から委託を受け、稲沢市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターがサポートを行っています。本紙についてのご意見・ご要望は
稲沢市社会福祉協議会 地域福祉課 加藤まで
☎058712316713

編集後記 今回紹介させていただいた地縁活動は、起こりこそ様々ですが、どれも地域に欠かせない取り組みであると、取材で出会った方々の温かで生き生きとした表情から改めて感じました。地域の誰もが安心して暮らすことのできるよう、このような取り組みが継続され、また波及していくことを願って止みません。取材に協力してくださった皆さん、ありがとうございました。